

平成 29 年度（2020 年度）から行われてきた「木村榮博士に光をあて、・・・活動」に関連して行われてきた行事について以下に紹介します。

・木村榮博士の代表的業績「Z 項の発見」についての講演会の開催

木村榮博士の活躍の地が岩手県水沢（現在の奥州市水沢区）であったことに鑑み、博士が明治 32 年（1899 年）初代所長を務めた臨時緯度観測所の流れをくむ「国立天文台 水沢」の名誉教授の大江昌嗣先生を講師に招いて講演会を開催しました（写真下）。平成 29 年 11 月 16 日泉中学校集会室で『日本の黎明期における木村榮博士の水沢での観測と Z 項』の題目で行われた講演会には、会場スペースの理由で聴衆は泉中学校 3 年生約 110 名、泉中教員数名、地域住民約 40 名、その他外部から数名（ふるさと偉人館館長・学芸員を含む）の計約 160 名に限られましたが、会場を埋め尽くした参加者は熱心に聞き入り、その模様は翌日の新聞にも掲載され、弥生が生んだ世界的な天文学者木村榮博士の業績の偉大きさを博士の故郷の皆さんに伝えることに大いに資したと考えています。



・プラネタリウム鑑賞会の開催

令和元年（2019 年）10 月 5 日（土）午後、金沢市キゴ山ふれあい研修センターに赴き、プラネタリウム鑑賞と施設見学の集いを実施しました。参加者は弥生地区住民 29 名、泉小学校児童 1 名および泉中学校科学クラブ生徒 12 名・顧問教諭 1 名でした。学芸員の説明に耳を傾けつつ天井に展開される星座の動きに見入りながら、それぞれに天文・宇宙の世界への夢を膨らませたことかと思います。

プラネタリウム鑑賞会の後、
キゴ山ふれあい研修センター屋上にて
(令和元年 10 月 5 日)



・天文・宇宙をテーマとする講演会の開催

令和元年度（2019年度）に弥生町会連合会の主催で二つの講演会を開催しました。

その一つは 講師金沢市教育長 野口 弘 先生

講演題目 「未知の空間へ、未知の星へ－宇宙大航海時代の夜明け－」

のもとに実施されたものです。11月18日に泉中学校3階集会室で、泉小学校6年生約100名及び弥生地区住民約30名の外、泉小関係者数名の参加のもとに行われました。講師の野口 弘先生（金沢市教育長）の豊富な体験・知見と宇宙への深い思い入れに裏打ちされた内容で、学童は勿論、天文学・宇宙物理学の門外漢のおとなをもワクワクさせるようなすばらしい講演でした（写真下）。



天文・宇宙をテーマとするもう一つの講演会は

講師 金沢大学理工研究域数物科学系・准教授、JAXA 特任准教授 藤本 龍一 先生

講演題目 「X線天文衛星で探る宇宙」

で、12月9日に泉中学校3階集会室で、泉中学校2年生約100名及び弥生地区住民約20名の外、泉中関係者数名の参加のもとに行われました。aignシュタインが提唱した「一般相対性理論」が予測する宇宙現象の一つである「ブラックホール」についてのお話を主な内容とする講演でした。マスコミでも時々取り上げられる話題ですが、本当は難解なこの宇宙物理学現象について出来る限り平易なことばでお話しいただいき、しばしの間、門外漢の聴衆を悠久にして深遠な宇宙の世界へいざなっていただいた有意義な講演会でした（写真下）。



・弥生公民館みどり学級で「Z項について」学習会

平成5年3月13日弥生公民館3階で行われた弥生公民館みどり学級において「Z項について」とくに、 $\Delta\phi_i = x \cos \lambda_i + y \sin \lambda_i + Z$ について」学習。

講師を務めたのは 大橋 信喜美氏（泉野町3丁目住）。